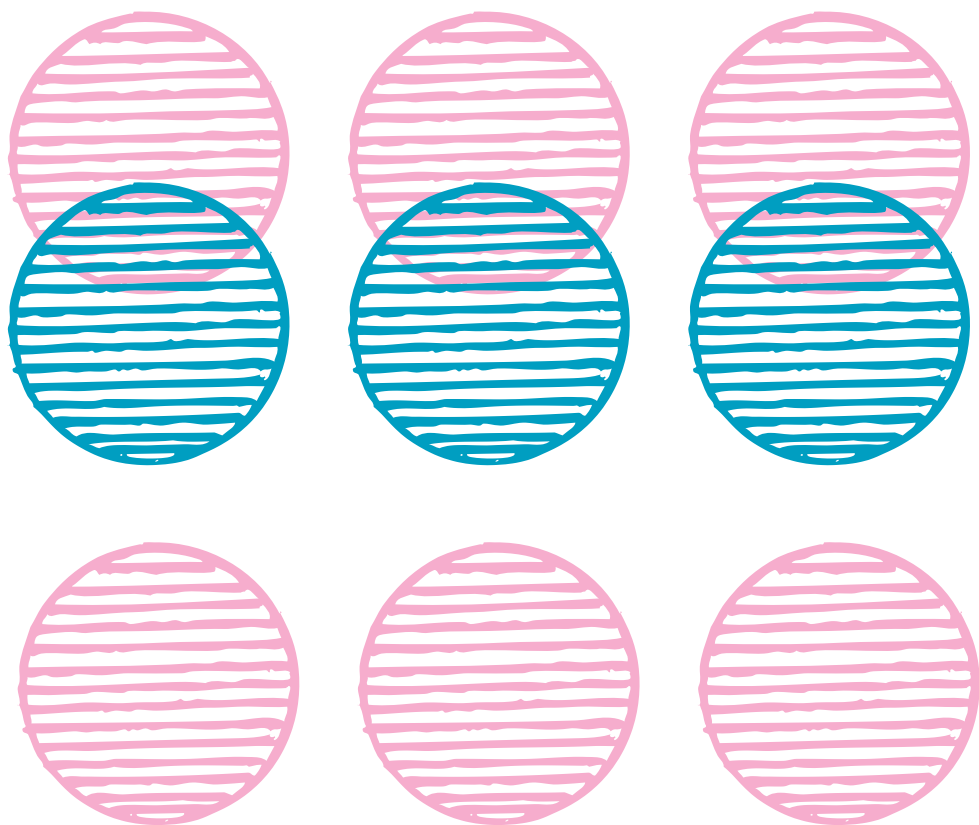


# つたわる 中国語文法

前置詞・副詞・接続詞を総復習

林松濤 著



東方書店

## まえがき

『前置詞、副詞、接続詞を総復習する』、このような一冊を手にとっていただき、ありがとうございます。

本書を読んでいただいた後、皆さんはきっと中国語をより正しく、表現ゆたかに、そして筋道をたてて話せるようになることでしょう。つまり伝わる中国語を自分のものにできると信じています。

本書でいう総復習とはどのような形なのか、なぜこのような総復習が必要なのか、私の経験から申し上げます。

私は、おもに東京・中野区にある「語林」という教室で中国語を教えています。語林の学生たちは会話が好きです。皆さんもきっとお分かりと思いますが、教科書に出ている簡単そうな言葉をいざ会話で使おうとすると、似た意味の言葉も一緒に思い浮かび、どれを選んだらよいのか、違う言葉を使うとニュアンスがどう変わるのかと様々な迷いが生じます。そこで、彼らは私にいろいろと聞いてきます。

学生からの質問が溜まっていくうちに、あることに気づきました。個別の問題に見えていても、それぞれはどこかでつながっている。そのつながりをたどっていくと、「中国人の考え方」「言葉の歴史」「ある漢字のイメージ」などが浮かび上がってくる。そのような「発見」があるたびに彼らに話します。学生がこれらのことを理解したうえで話す中国語は、より自然になっていきました。

やはり、中上級およびそれ以上のレベルの学習者は、前置詞、副詞、接続詞を総復習する必要があります。それは練習問題の数をこなすようなテストを目的とした総復習ではなく、言葉と言葉のつながりを知り、全体像を得るような総復習です。

全体像と言えば、2011年に『つながる中国語文法』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）を出版しました。その本では「中国語文法の全体像」を提示するために、基本文型、文の構造に話をしほりました。そこに入らなかったより具体的な話が本書の内容となりました。

思えば、あの本に書けなかった心残りを東方書店の川崎道雄様に話し、貴重な意見や励ましを頂戴してから5年も過ぎました。今日ついに伝わる中国語を話せるための総復習が紙の形となりました。編集にたずさわった皆さん、語林の学生の皆さん、ありがとうございます。

では、皆さん、総復習をさっそく始めましょう。

# 目 次

<b>第一章 正しく話す 前置詞のおさらい</b> .....	1
前置詞について.....	2
コラム——名詞文、形容詞文、動詞文 .....	6
<b>第一講 空間・時間</b> .....	7
0. この講の全体像.....	8
1. “从”、“到” — 起点・着点（終点）— .....	12
コラム——“自”と“从”の違い .....	17
2. “在” — 着点、存在する場所、行動する場所— .....	18
コラム——時間順に反して話すケース .....	21
3. “离” — 2点間の隔たり— .....	22
4. “临～前”、“当～时”、“等～以后” — 変化との関係— .....	25
<b>第二講 方向・受け手・対象</b> .....	29
0. この講の全体像.....	30
1. “往”、“向”、“朝” — 方向、受け手— .....	32
コラム——「“往（向／朝）～”＋動詞」の組み合わせ（補足）.....	37
2. “对”、“对于”、“拿” — 受け手、対象— .....	38
コラム——受け手を表す“对”と二重目的語 .....	41
3. “给” — 受け手と受益者— .....	42
コラム——“给”は結果補語か？ .....	44
4. “跟” — 相手— .....	45

<b>第三講 範 囲</b> .....	49
0. この講の全体像 .....	50
1. “关于”、“至于”、“就” — 範囲を示す — .....	52
2. “对～来说”、“就～来看”、“拿～来说” — 話題の範囲 — .....	56
3. “连” — 範囲を拡大する — .....	57
4. “除了～以外”、“趁” — 範囲を限定する — .....	60
<b>第四講 手段・よりどころ・理由・目的</b> .....	65
0. この講の全体像 .....	66
1. “用”、“拿”、“以”、“凭” — 道具、手段、証拠 — .....	68
2. “根据”、“据” — 根拠 — .....	70
3. “按”、“依”、“照”、“按照” — 基準 — .....	73
4. “通过” — 手段 — .....	76
5. “因为”、“由于”、“为了” — 原因・理由・目的 — .....	78
<b>第五講 動作主・対象</b> .....	83
0. この講の全体像 .....	84
1. “把” — 対象 — .....	88
2. “被” — 動作主 — .....	97
3. “让”、“叫”、“由” — 動作主 — .....	104

**第二章 表現ゆたかに話す 副詞のおさらい**…………… 109

副詞について…………… 110

コラム——“的”、“地”、“得”の違い…………… 112

**第一講 範囲**…………… 113

0. この講の全体像…………… 114

1. “也”、“还”、“又”、“再” —範囲を拡大する—…………… 116

2. “只”、“只有”、“光”、“仅”、“但”、“就”、“才” —範囲を限定する—…………… 121

コラム——“只是”と“只好”の使い方…………… 126

3. “都”、“所有的”、“一共”、“一起” —範囲内のすべて—…………… 127

**第二講 程度**…………… 133

0. この講の全体像…………… 134

1. “好”、“多”、“太～了” —感嘆文に使う—…………… 136

2. “特别”、“比较”、“很”、“相当”、“非常” —平叙文に使う—…………… 138

3. “更”、“得多”、“再”、“最”、“极了” —比較表現との関係—…………… 141

コラム——“再”と“更”の違い…………… 144

**第三講 頻度**…………… 147

0. この講の全体像…………… 148

1. “常常”、“时常”、“时不时”、“有时”、“偶尔” —回数のおよび—…………… 150

2. “总是”、“往往” —規則性—…………… 152

3. “又”、“再”、“还” —「また」—…………… 154

コラム——“又”、“再”、“还” —「範囲拡大」と「重複」の違い—…………… 160

**第四講 時間**…………… 163

0. この講の全体像…………… 164

1. “原来”、“本来”、“曾经”、“从来” —現状との関係—…………… 167

2. “还”、“已经”、“刚” —変化との関係—…………… 171

3. “就”、“才”、“快” —話し手の気持ち—	173
4. “就”、“马上”、“立即”、“立刻” —継起との関係—	177
5. “在”、“正” —進行を表す—	179
[付録1] “了”	183
[付録2] “过”	191
[付録3] “着”	194
<b>第五講 否定・肯定</b>	195
0. この講の全体像	196
1. “不”、“没” —意志と結果—	199
2. “不”、“无”、“未”、“别” —そのほかの否定副詞—	203
3. “是” —副詞として考える—	207
<b>第六講 様子と状態</b>	213
0. この講の全体像	214
1. “突然”、“忽然” —変化を表す—	216
2. “故意”、“随便”、“顺便” —意識・気持ちを表す—	220
コラム—— “再” の用法 (補足)	224
<b>第七講 話し手の気持ち</b>	227
0. この講の全体像	228
1. “恐怕”、“仿佛” —推測との関係—	230
コラム—— “可能” について	235
2. “其实”、“果然” —予想の当たり、外れ—	236
3. “幸好”、“不巧” —ラッキー、アンラッキー—	239
4. “必须”、“当然”、“却”、“难道” —道理との関係—	242
5. “最多”、“至少” —数量に関連する副詞—	247
6. “干脆”、“反正” —話し手の心情—	250

**第三章 筋道をたてて話す 接続詞、呼応表現のおさらい**…………… 259

接続詞、呼応表現について…………… 260

**第一講 時間の流れ・継起**…………… 265

0. この講の全体像…………… 266

1. “先～，后～”、“就”、“再” —順番を示す—…………… 267

2. “首先”、“以后”、“后来”、“然后” —「いま」との関係— …… 271

**第二講 並列と追加**…………… 277

0. この講の全体像…………… 278

1. “既(又)～，又～”、“有的～，有的～”、“另外” —並列—…………… 280

2. “而且”、“甚至”、“再加上” —追加— …… 286

3. “不但”、“不仅” —譲歩+追加—…………… 289

**第三講 対比と逆接**…………… 293

0. この講の全体像…………… 294

1. “而”、“而～则” —対比— …… 296

2. “但是”、“可是”、“不过” —逆接— …… 298

3. “虽然”、“尽管”、“固然”、“别看” —譲歩+逆接—…………… 300

コラム—— “可” の使い方 (1)…………… 302

**第四講 選 択**…………… 305

0. この講の全体像…………… 306

1. “或者”、“还是”、“就是” —選択肢の扱い方— …… 307

2. “与其～，不如～” —選択・判断—…………… 310

3. “宁可～，也不～” —意志— …… 312

<b>第五講 因果と目的</b> .....	317
0. この講の全体像.....	318
1. “因为～，所以～” —因果関係— .....	320
2. “于是”、“既然～，就～” —継起関係と因果関係— .....	321
3. “为了”と“以便”、“以免”、“免得” —手段 - 目的—.....	325
コラム——緊縮文とは .....	328
<b>第六講 仮定、条件—結論</b> .....	331
0. この講の全体像.....	332
1. “如果～，就～” —仮定— .....	334
コラム——仮定疑問文 .....	337
2. “只要～，就～”、“只有～，才～” —複数の条件—.....	338
3. “不管（无论）～，都～” —いずれかの条件、無条件—.....	341
コラム——“不管”と“尽管”——「多」か「一」か .....	343
4. “即使～，也～” —極端な条件と譲歩— .....	344
コラム——“可”の使い方 (2) .....	348
<b>第七講 単語、フレーズをつなぐ接続詞</b> .....	351
0. この講の全体像.....	352
コラム——接続詞を使わない並列 .....	353
1. “和”、“跟”、“同”、“与” —並列— .....	354
2. “及其”、“并且”、“甚至” —追加— .....	357
3. “但”、“但是”、“可是”、“却” —逆接— .....	359
4. “或”、“或者” —選択— .....	360
索引.....	363



## 前置詞について

### ① 前置詞と動詞の関係

前置詞は、中国語で“介詞 jiècí”と言うので「介詞」とも呼ばれます。そのほとんどは、動詞から変化してきたものです。そのため、1つの単語に動詞と前置詞の2つの使い方があります。たとえば“给”は動詞の「あげる」と前置詞の「～に」の意味があります。

〔動詞〕 他给我一本书。Tā gěi wǒ yì běn shū.  
彼は私に1冊の本をくれます。

〔前置詞〕 他给我买一本书。Tā gěi wǒ mǎi yì běn shū.  
彼は私に1冊の本を買ってくれます。

なかには、前置詞であるか、動詞であるか言い切れない単語もあります。たとえば、“离 lí”。スタンダードとなる『現代漢語詞典』(第7版)のp795では、“离”は動詞とされます。しかし“离”は「～から、～まで」と訳されるので、日本の多くの学習書では前置詞とされています。

このような「混乱」について、本書は、グレーな部分に無理やり白黒をつける必要はないと考えています。分けきれない単語もある、という事実を念頭に置いて言葉の運用に目を向けたほうが良いと思います。

### ② 前置詞の定義、語順の特徴

では、1つの単語は何をもって前置詞とされるのでしょうか。次の定義を参照しながら考えてみましょう。

介詞は目的語といっしょになって「介詞フレーズ」をつくり、……場所、時間、原因、対象等を表す働きをします。文中での位置は述語の前です。

(相原茂『Why にこたえるはじめての中国語文法 新訂版』p124)

まず、前置詞は「目的語といっしょになって」とはどういうことでしょうか。次の2つの例文を見ましょう。

[I] 他从对面走过来，对我笑了一下。

Tā cóng duìmiàn zǒuguolai, duì wǒ xiàole yíxià.

彼は向こうから歩いてきて、私にちょっと笑った。

[II] 他从开面包店起家，现在已经成了著名的企业家。

Tā cóng kāi miànbāodiàn qǐjiā, xiànzài yíjīng chéngle zhùmíng de qǐyèjiā.

彼はパン屋を經營することからスタートし、現在は著名な經營者となっています。

前置詞の“从”の後に“对面”[I]と“开面包店”[II]があります。“对面”は名詞、“开面包店”はフレーズ(句)です。つまり、「目的語といっしょになって」とは、次の2つのパターンを指すことが分かります。

[I] 前置詞 + 名詞(人称代名詞を含む)

从 对面

[II] 前置詞 + フレーズ

从 开面包店

以上の「前置詞+名詞」と「前置詞+フレーズ」を「前置詞フレーズ」(介詞フレーズ)と言います。

次に、前置詞フレーズは、文のどこに置かれるのかを考えてみましょう。

上記の定義を見ると、「文中での位置は述語の前です」とあります。しかし本書では、前置詞フレーズの位置は次の3種類あると考えます。

### 1) 述語の前(前置詞フレーズ+“是”、動詞、形容詞)

このパターンが一番多く見られます。

[名詞文] 他在北京是老师。Tā zài Běijīng shì lǎoshī.

彼は北京にいたときに先生でした。

[動詞文] 小王从东京去美国。Xiǎo-Wáng cóng Dōngjīng qù Měiguó.

王さんは東京からアメリカに行きます。

[形容詞文] 我家离公司很远。Wǒ jiā lí gōngsī hěn yuǎn.

家は会社から遠いです。

## 0. この講の全体像

### ① 空間、時間表現のイメージ図

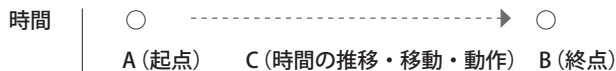
この講では、空間、時間にかかわる前置詞を説明します。それらの多くは、次の図でイメージできます。



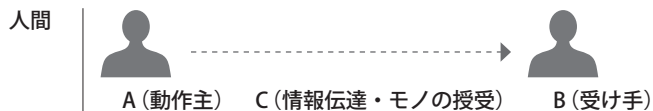
空間上のことを考える場合、A は起点、B は着点、C は経路・移動・動作を表します。



時間上のことを考える場合、A は起点、B は終点、C は時間の推移・移動・動作を表します。



また、人間にかかわることを考える場合、A は動作主、B は受け手、C は情報伝授・モノの授受の過程を表します。



日本語の場合、空間、時間、人間のいずれにかんしても「A から」「B へ、B に、B まで」で話すことができます。しかし、中国語の場合はより多くの前置詞が使われます。

## ② 空間表現と似ている時間表現

“从”、“到”、“在”、“离”といった前置詞は、空間だけでなく、時間を表すこともできます。たとえば、場所のみに使うと思われがちな“在”は時間上のことにも使えます。

在我回来以前，你一定要写完。Zài wǒ huílái yǐqián, nǐ yíding yào xiěwán.  
私が帰ってくるまでに、書き終わらないとだめですよ。

考えてみれば、時間表現は空間表現によく似ています。たとえば、“上午 shàngwǔ”（午前）、“下午 xiàwǔ”（午後）、“以前 yǐqián”（～する前に）、“以后 yǐhòu”（～した後）は時間を表す言葉ですが、「上、下、前、後ろ」といった空間を表す語を使っています。

## ③ 人間にかかわる表現と場所化

しかし、人間にかかわる表現は、空間、時間を表す表現と異なります。たとえば、学生とよくこんなやりとりをします。

学生：「北京から来た」は“从北京来 cóng Běijīng lái”と言いますが、「彼から聞いた」は“\*从他听到”と言わないのはなぜですか？

私：“北京”は場所、“他”は人間です。場所の話と人間の話は違うからです。また、私からもよく学生に言います。

私：「上海に送る」は“寄到上海 jì dào Shànghǎi”と言いますが、「王さんに送る」は“寄给小王 jì gěi Xiǎo-Wáng”と言います。場所と人間は別の言い方にしなければなりません。

つまり、「空間、時間にかかわる表現」と「人間にかかわる表現」の間には厚い壁があるのです。この壁を乗り越える方法のひとつは、人間の後に何らかの言葉をつけて空間表現に変えることです。本書では、これを「場所化」と呼びます。たとえば、「子供」を場所化するとこうなります。

把钱都花在孩子身上了。Bǎ qián dōu huā zài háizi shēnshang le.  
金をすべて子供に使った。

抽象的なことに“在”、“到”などを使うときにも場所化をする必要があります。たとえば、“在这个问题上 zài zhègè wèntí shang”（この問題において）と言う場合などです。人間にかかわる表現で、場所化をしない場合は、よく“给”、“跟”、“对”を使います。これについては第二講で説明します。

#### ④ 時間軸に沿って話す

「“在(到)～”＋動詞」と「動詞＋“在(到)～”＋動詞」の違いも、この講で説明するテーマです。たとえば、学生とよくこんなやりとりをします。

学生：“在教室看书 zài jiàoshì kàn shū”（教室で本を読む）と“放在桌子上 fàng zài zhuōzi shàng”（テーブルに置く）はどう違うのですか。

私：事実を考えましょう。教室にいないと、本が読めません。だから“在教室／看书”と言います。何かを置くという動作をしたから、モノがテーブルにあるでしょう。だから、“放／在桌子上”と言います。

ここで、私が念頭に置いたのは「時間軸に沿って話す」という原則です。

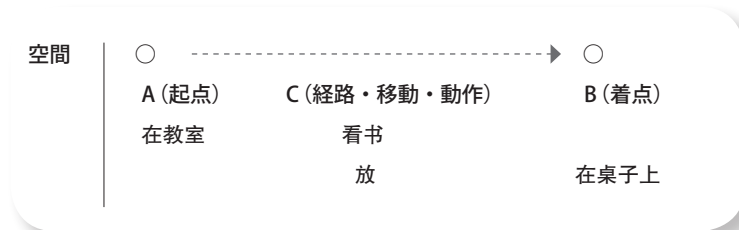
多くの連動文の語順はこの原則にしたがっています。

我去北京旅游。Wǒ qù běijīng lǚyóu.

私は北京に旅行する。



この原則を前述の「A－C－Bの図」とかさねて考えると、“在教室看书”の場合、“在教室”は“看书”の「起点」です。“放在桌子上”の場合、“桌子”はまさに“放”という動作の着点ですね。



#### ⑤ 「動」か「静」かで考える

“离”と“从”はどちらも「から」と訳されます。

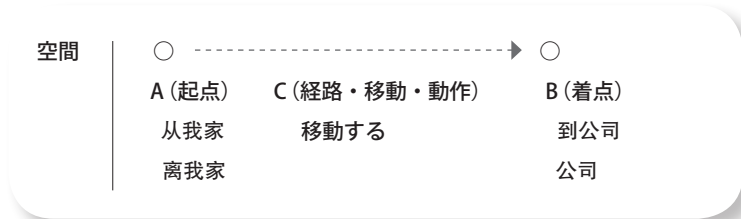
[ I ] 从我家到公司要一个小时。Cóng wǒ jiā dào gōngsī yào yí ge xiǎoshí.

家から会社まで1時間かかります。

[ II ] 公司离我家很远。Gōngsī lí wǒ jiā hěn yuǎn.

会社は家から遠い。

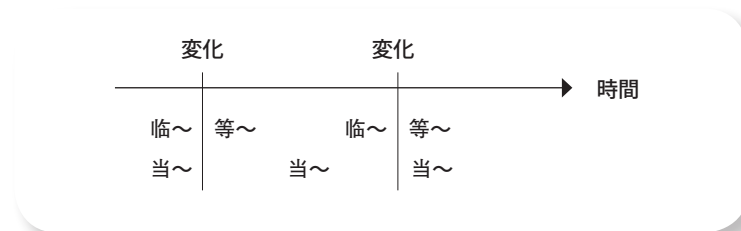
[I]と[II]を前述の「A - C - Bの図」に当てはめてみると、こうなります。



本文で詳しく説明しますが、“从”と“离”の根本的な違いは、話し手の「移動がある」か「移動がない」かにあります。

### ⑥「変化」との関係で考える

変化が起きる前か後かに関係する前置詞もあります。たとえば、“临”、“当”、“等”です。時間軸における変化を示す図を使うと、これらの前置詞は直感的に捉えられ、覚えやすくなります。



她临睡前总是看一会儿书。Tā lín shuì qián zǒngshì kàn yíhuì shū.  
彼女は寝る前にいつもこし本を読む。

当她走进公园时，闻到一股花香。  
Dāng tā zǒujìn gōngyuán shí, wéndào yì gǔ huāxiāng.

(彼女が) 公園に入った途端に花の香りがする。

等我全看完后，再给你说我的感想。  
Děng wǒ quán kànwán hòu, zài gěi nǐ shuō wǒ de gǎnxiǎng.  
全部読み終わってから感想をお話します。

本講ではこのような内容について、詳しく説明していきたいと思います。

# 1. “从”、“到” 一起点・着点（終点）

## ① 空間、時間を表す“从”と“到”

“从”と“到”は空間上のことを表現できます。

[ I ] 从东京到北京要三个小时。

Cóng Dōngjīng dào Běijīng yào sān ge xiǎoshí.

東京から北京までは3時間かかります。

[ II ] 这辆巴士是从上海开到苏州的。

Zhè liàng bāshì shì cóng Shànghǎi kāi dào Sūzhōu de.

これは上海から蘇州までのバスです。

[ III ] 大家把资料从办公室搬到走廊。

Dàjiā bǎ zīliào cóng bàngōngshì bān dào zǒuláng.

みんなが資料をオフィスから廊下に運んだ。

以上の“从”と“到”は、東京から北京までの隔たり（[ I ]）、上海から蘇州への移動（[ II ]）、オフィスから廊下へ資料を運ぶという動作（[ III ]）の「起点」と「着点」を表しています。

空間

○ -----> ○

A (起点)      C (経路・移動・動作)      B (着点)

从东京

到北京

从上海      开 (移動)

到苏州

从办公室      搬 (動作)

到走廊

“从”と“到”は時間上のことを表すこともできます。

[ I ] 他从早到晚哼着歌。

Tā cóng zǎo dào wǎn hēngzhe gē.

彼は朝から晩まで鼻歌を歌っています。

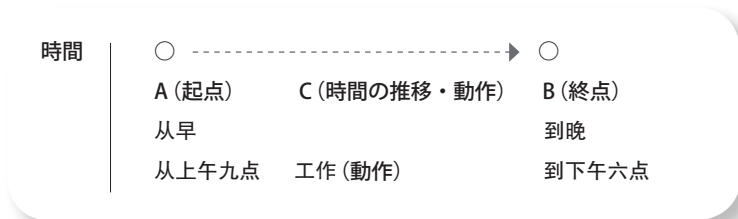
[ II ] 我每天从上午九点工作到下午六点。

Wǒ měitiān cóng shàngwǔ jiǔ diǎn gōngzuò dào xiàwǔ liù diǎn.

私は毎日午前9時から午後6時まで仕事をします。

以上の“从”と“到”は、時間の推移（[ I ]）、仕事をするという動作（[ II ]）

の「起点」と「終点」を表しています。

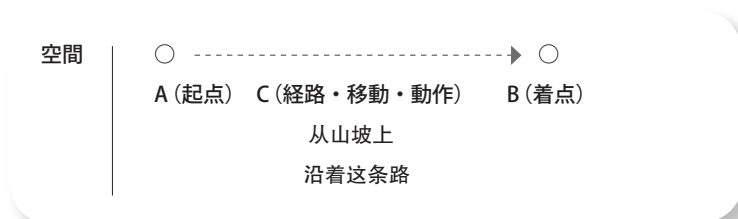


また、“从”で空間上の経路を表すこともできます。

球从山坡上滚了下来。Qiú cóng shānpō shang gǔnle xiàlai.  
ボールが坂から転がってきた。

以上の“从”は「から」と訳されますが、「起点」ではなく、「経路」を表しています。経路を表す前置詞は他に“沿着”、“顺着 shùnzhe”があります。

请沿着这条路一直走。Qǐng yánzhe zhè tiáo lù yìzhí zǒu.  
この道をまっすぐ行ってください。



空間上、時間上のことを話すとき、“从”と“到”の働きは上の図でイメージできます。

## ② 人間にかかわることを表す“从”と“到”

人間にかかわること、とは「王さんから話を聞いた」のような人と人との間での情報伝達や「李さんにプレゼントを贈った」のようなモノの授受の話です。情報やモノを与える人を「動作主」、受け取る人を「受け手」と言います。

“从”と“到”で人間にかかわることを表す場合は、“这里 zhèlǐ”、“那里 nàlǐ”、“上 shang”などの言葉を足して「人間」を「場所」に変えることが必要です。本書では、この方法を「場所化する」と言います。



我从小王那里听说了那件事。 \* 从小王听说那件事。

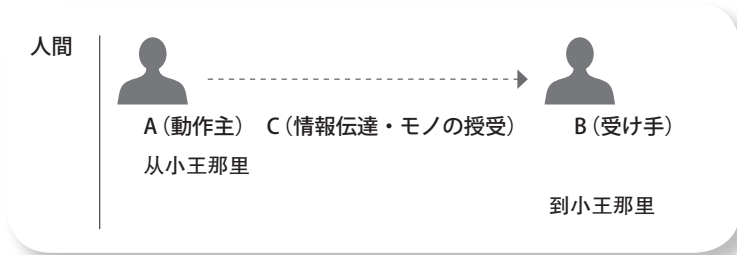
Wǒ cóng Xiǎo-Wáng nàlǐ tīngshuōle nà jiàn shì.

王さん(のところ)からその件を聞いた。

请把这台扫描机送到小王那里。

Qǐng bǎ zhè tái sǎomiáoji sòng dào Xiǎo-Wáng nàlǐ.

このスキャナーを王さん(のところ)に届けてください。



もちろん、動作主を主語としたり、別の前置詞（“给”、“由”）を使ったりして表すこともできます。

我听小王说了那件事。

Wǒ tīng Xiǎo-Wáng shuōle nà jiàn shì.

王さんからその件を聞いた。

这本书是小王借给我的。Zhè běn shū shì Xiǎo-Wáng jiè gěi wǒ de.

この本は王さんが私に貸してくれたのです。

下面由我来介绍一下。Xiàmiàn yóu wǒ lái jièshào yíxià.

ここで私からご紹介します。

### ③ “从～”の後には動詞を忘れないで！

“从”と“到”の使い方には違いがあります。

[ I ] 你从哪里来？ Nǐ cóng nǎlǐ lái? どこからですか。

[ II ] 你到哪里？ Nǐ dào nǎlǐ? どこまでですか。

“从～”の後には動詞“来”がありますが、“到～”の後に動詞はありません。なぜこのような違いが生じるのでしょうか。

言葉の本来のイメージから考えてみましょう。

“从”の場合、動詞の“从”は、“跟从 gēncóng”“随从 suícóng”（あとにしたがう）などがあるように「したがう」という意味です。これは、前置詞の「～から」

とかなり違います。

“到”の場合、動詞の“到”は「着く」で、前置詞の「～に」「～まで」の意味に近いです。

〔I〕の文にも〔II〕の文にも動詞は必要です。そのため前置詞であることが明白な“从”の後には別の動詞をつけますが、動詞とも見なされる“到”の後には別の動詞がなくてもいいのです。

以上の理由から、“从～到～”でなく、単体で“从”を使う場合は、後ろに動詞を忘れずにつけましょう。

她是从北京来的留学生。 \* 她是从北京的留学生。

Tā shì cóng Běijīng lái de liúxuéshēng.

彼女は北京からの留学生です。

我从今天起一定注意这一点。 \* 我从今天一定注意这一点。

Wǒ cóng jīntiān qǐ yí dìng zhùyì zhè yí diǎn.

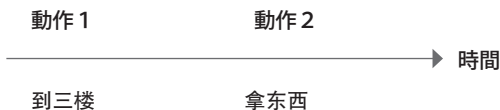
今日から必ずこの点に気をつける。

#### ④ 「“到～”＋動詞」と「動詞＋“到～”」の違い

「3階にモノを持っていく」は“到三楼拿东西”でしょうか、それとも“把东西拿到三楼”と言うべきでしょうか。「11時まで寝た」は“到十一时睡觉”でしょうか、それとも“睡到十一时”と言うべきでしょうか。これらは「“到～”＋動詞」と「動詞＋“到～”」の使い分けの問題です。

まず、空間上のことを考えましょう。

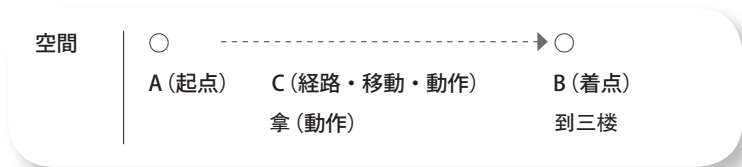
中国語では、「時間軸に沿って話す」という傾向があります。“到三楼拿东西”の場合、先に「3階に行く」“到三楼”、後に「モノを取る」“拿东西”ですので、次の図でイメージできます。この“到”は動詞です。



他到三楼拿东西。Tā dào sān lóu ná dōngxi.

彼はモノを取りに3階に行きます。

一方、“把东西拿到三楼”は「A - C - B の図」でイメージできます。この“到”は「動作の着点」を表す前置詞です。



他把东西拿到三楼。Tā bǎ dōngxi ná dào sān lóu.  
彼はモノを3階に持っていきます。

次の例も同じように「時間軸に沿って話す」原則と「A - C - B の図」で理解できます。

我们到新宿换车吧。Wǒmen dào Xīnshù huànchē ba.  
私たちは新宿で乗り換えましょう。

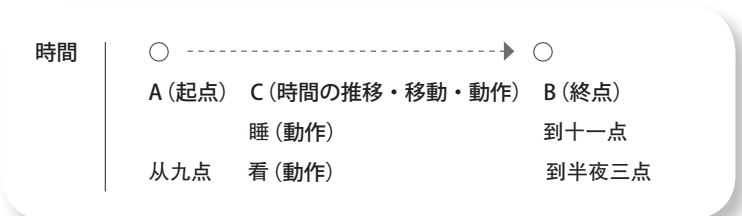
我们走到新宿吧。Wǒmen zǒu dào Xīnshù ba.  
私たちは新宿まで歩きましょう。

今度は、時間上のことを考えてみましょう。

我昨天睡到了十一点。Wǒ zuótiān shuì dào le shíyī diǎn.  
私は昨日、11時まで寝ていました。

昨天我看电视，从九点一直看到了半夜三点。  
Zuótiān wǒ kàn diànshì, cóng jiǔ diǎn yìzhí kàn dào le bànàyè sān diǎn.  
昨日、私は9時からずっと夜中の3時までテレビを見ていました。

これも「A - C - B の図」で考えられます。



一方、“到十一点睡觉。”と言うと、「11 時になったら寝ます」「11 時までに寝ます」の意味となります。

多くの場合、この“到”は動詞とされます。

我到了不惑之年才明白时间有多么宝贵。

Wǒ dào le bú huò zhī nián cái míngbái shíjiān yǒu duōme bǎoguì.

私は40代になってはじめて時間の大事さを思い知った。

以上のように、「時間軸に沿って話す」原則と「A - C - Bの図」を合わせて考えると、「到～」+動詞」と「動詞+“到～”」の違いも分かりやすくなります。

## コラム——

### “自”と“从”の違い

“自”は“从”と同じ、「～から」の意味があります。ただし“自”は古い中国語のなごりで、書き言葉として使われます。

自12日至15日，总经理至广州出差。

Zì shíèr rì zhì shíwǔ rì, zǒngjīnglǐ zhì Guǎngzhōu chūchāi.

12日から15日まで、社長は広州に出張します。

しかし話し言葉で、“我自东京来。”（私は東京からやってきました）と言うとやはりおかしい。時代劇のセリフに聞こえてしまいます。

話し言葉で使うのは「動詞+“自～”」で、意味は「“从～”+動詞」とほぼ同じです。

今天收到了一封从美国来的信。

Jīntiān shōudàole yì fēng cóng Měiguó lái de xìn.

今天收到了一封来自美国的信。

Jīntiān shōudàole yì fēng lái zì Měiguó de xìn.

今日、アメリカからの手紙をもらいました。

“来自～”の他に、“出自 chū zì ～” = “从～出来”、“选自 xuǎn zì ～” = “从～选出来”もあります。

以上のように、“自”と“从”は意味は同じでも、古い／新しい、書き言葉／話し言葉という違いがあり、文中の位置も違います。

## 2. “在” 一着点、存在する場所、行動する場所一

### ① 時間を表すこともできる“在”

“在”は空間上のことだけでなく、時間上のことも表現できます。“在”＝「存在する」という先入観をなくしましょう。

在他出生的那一年，故乡发生了一件大事。

Zài tā chūshēng de nà yì nián, gùxiāng fāshēngle yí jiàn dàshì.

彼が生まれた年に、ふるさとに大事件が起きた。

在他回来以前，把房间收拾干净。

Zài tā huílái yǐqián, bǎ fángjiān shōushi gānjìng.

彼が帰ってくるまでに、部屋をきれいに片付けましょう。

書き言葉ではまれに「動詞＋“在～”」の形が使われます。

他出生在 1986 年。Tā chūshēng zài yì jiǔ bā liù nián.

彼は 1986 年生まれです。

### ② 人間にかかわること、抽象的なことを表す“在”

“在”で人間にかかわること、抽象的なことを表す場合、“身上”、“上”、“方面”などをつけて場所化する必要があります。“到”のケースと同じです（→p13）。

他把钱都花在（到）孩子身上了。Tā bǎ qián dōu huā zài (dào) háizi shēnshang le.

彼はお金を全部子どもに使っています。

在这个问题上，绝对不能疏忽。Zài zhège wèntí shang, juéduì bù néng shūhu.

この問題においては、絶対に油断してはいけません。

在价格方面，我们还可以讨论。Zài jiàgé fāngmiàn, wǒmen hái kěyǐ tāolùn.

価格については、まだ相談の余地があります。

他把时间都用在（到）学习上了。Tā bǎ shíjiān dōu yòng zài (dào) xuéxí shang le.

彼は時間をすべて勉強に使っています。

\*“在这个问题”などと言わないで、正しく“在这个问题上”と言いましょう。

### ③ 「“在～”＋動詞」と「動詞＋“在～”」の違い

空間上のことを表す場合、「“在～”＋動詞」と「動詞＋“在～”」はどう違うのでしょうか。

## 練習問題

■ ( ) 内に下記から適当な語句を入れましょう (複数回使うものもあります)。

从 到 在 离 等 临 当 由

下面 ( ) 我来介绍一下。

(ここで私からご紹介します。)

( ) 价格方面，我们还可以讨论。

(価格については、まだ相談の余地があります。)

他从早 ( ) 晚哼着歌。

(彼は朝から晩まで鼻歌を歌っています。)

( ) 考试只有一个星期了。

(試験まで1週間しかありません。)

我昨天睡 ( ) 了十一点。

(私は昨日、11時まで寝ていました。)

( ) 我家到公司要一个小时。

(家から会社まで1時間です。)

我家 ( ) 公司 30 公里。

(家から会社まで30kmです。)

每次 ( ) 考试前，他都很早就睡觉，从来不熬夜。

(試験前に、彼はいつも早く寝ます。一度も夜更かししたことはありません。)

( ) 你来到日本以后，就能看到美丽的樱花了。

(日本に来たら、美しい桜が見られます。)

小朋友，( ) 你长大了，想当什么呀？

(ねえ、大きくなったら何になりたい？)

■ もう一度声に出して読みましょう。

下面由我来介绍一下。

在价格方面，我们还可以讨论。

他从早到晚哼着歌。

离考试只有一个星期了。

我昨天睡到了十一点。

从我家到公司要一个小时。

我家离公司 30 公里。

每次临考试前，他都很早就睡觉，从来不熬夜。

当你来到日本以后，就能看到美丽的樱花了。

小朋友，等你长大了，想当什么呀？

## 【付録1】“了”

## ① 変化を表す“了”

中国語は過去形を使いません。過去、現在、未来のどの時点について話すときでも、原則的にすべて同じように話します。これは中国語の第一原理と言えます。

過去、現在、未来の違いを意識させるのは「変化」です。「了」で「変化」を表すことができます。

様々な変化の中で、とくに重要なのは「完了」です。「完了」とは「動作が行われている状態」から「行われない状態」への変化です。「完了」は“了”で表します。

原理的には、完了は過去、現在、未来のどの段階にも起こりえます。しかし現実的には、過去の行動の多くはすでに完了しているため、過去のことを話すときによく“了”が使われ、現在、未来のことを話すときにはあまり使いません。

これを踏まえて、“了”の使い方について、文型ごとに見ていきましょう。

## ② 名詞文と“了”

名詞文は「AはBである」という判断を下す文です。文末に“了”をつけると、「AはBではなかったが、Bであるようになった」ということを表します。この場合、文末の“了”は「判断の変化」を表します。

「AはBではない」  
判断の変化  
「AはBである」  
「AはBである」+“了”

小朋友，今年几岁了？ Xiǎopéngyou, jīnnián jǐ suì le?

ねえ、きみ、今年何歳になった？

他不是你喜欢的那个人了。 Tā bú shì nǐ xǐhuan de nàge rén le.

彼はもうあなたが好きだった彼ではなくなった。

都星期六了，他怎么还不告诉我星期天在哪儿见面啊。

Dōu xīngqīliù le, tā zěnmě hái bú gàosu wǒ xīngqītiān zài nǎr jiànmiàn a.

もう土曜日なのに、なんでまだ日曜日にどこで会うかを教えてくれないのかしら。

以上のように、“了”は「～になった」「もう～」と訳されます。

注意したいのは、“九点了 jiǔ diǎn le” (9時になった)、“星期六了 xīngqīliù le” (もう土曜日だ) などの場合です。「名詞+“了”」と思わずに、“(現在)九点了”、“(今天)星期六了”という「名詞文+“了”」から主語が省略された形として考えましょう。



### [付録3] “着”

“着”は普通「～している」「～してある」と訳され、動作と状態の継続を表します。動詞文によく使われます。

動作の継続と状態の継続はどう違うのでしょうか。次の例を見てみましょう。

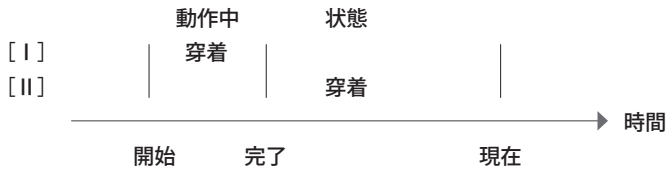
他穿着衣服。Tā chuānzhe yīfu.

この文は、2つの解釈が可能です。

[I] 彼は服を着ているところです。

[II] 彼は（裸ではなく）服を着ています。

[I] は動作の継続、[II] は状態の継続です。次のように異なります。



[I] の場合には、動作の進行を表す副詞の“在”と一緒に使うことができます。

我进房间时，他在打着电话呢。Wǒ jìn fángjiān shí, tā zài dǎzhe diànhuà ne.  
私が部屋に入ったとき、彼は電話を掛けていた。

[II] の場合は、“在”と一緒に使うことはできません。多くの場合、「動詞+“着”」の意味は“有”と同じです。

桌子上放着（有）许多书和词典。  
Zhuōzi shàng fàngzhe (yǒu) xǔduō shū hé cídiǎn.  
テーブルに沢山の本や辞書が置いてあります。

房间里坐着（有）一些来自韩国的留学生。  
Fángjiān li zuòzhe (yǒu) yìxiē láizì Hánguó de liúxuéshēng.  
部屋には何人かの韓国から来た留学生が座っています。

ISBN978-4-497-21709-7  
C3087 ¥2400E



東方書店

定価 (本体 2400 円+税)



## 目次

### 第一章 正しく話す 前置詞のおさらい

- 第一講 空間・時間
- 第二講 方向・受け手・対象
- 第三講 範囲
- 第四講 手段・よりどころ・理由・目的
- 第五講 動作主・対象

### 第二章 表現ゆたかに話す 副詞のおさらい

- 第一講 範囲
- 第二講 程度
- 第三講 頻度
- 第四講 時間
- [付録1] “了” [付録2] “过” [付録3] “着”
- 第五講 否定・肯定
- 第六講 様子と状態
- 第七講 話し手の気持ち

### 第三章 筋道をたてて話す 接続詞、呼応表現のおさらい

- 第一講 時間の流れ・継起
- 第二講 並列と追加
- 第三講 対比と逆接
- 第四講 選択
- 第五講 因果と目的
- 第六講 仮定、条件—結論
- 第七講 単語、フレーズをつなぐ接続詞